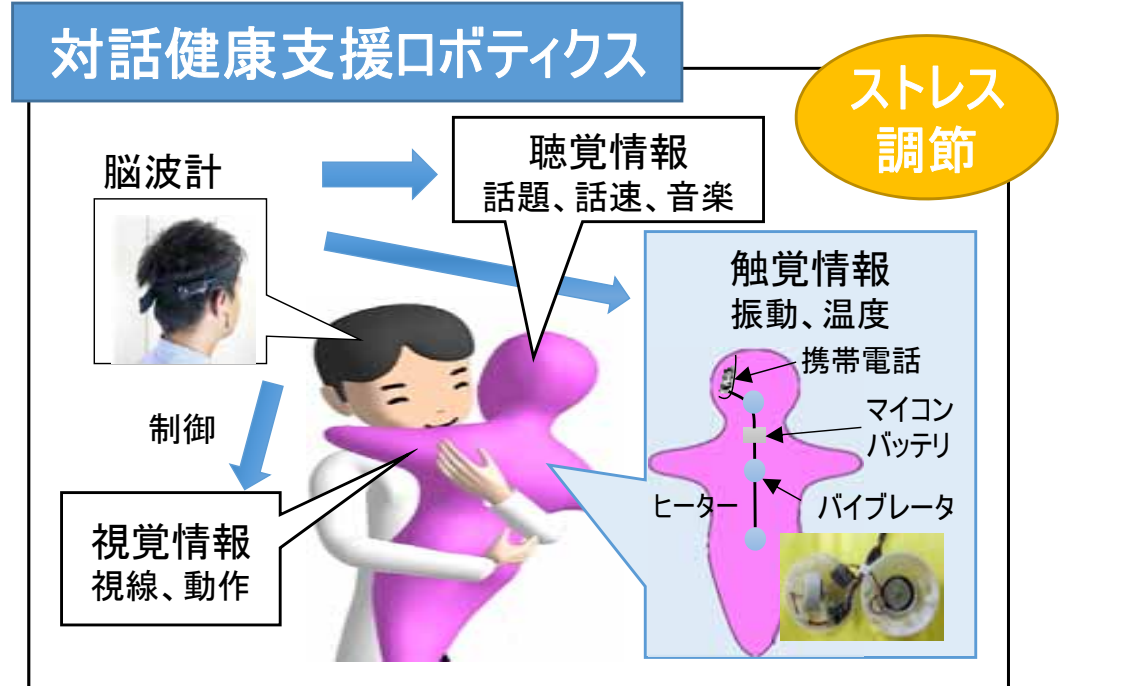


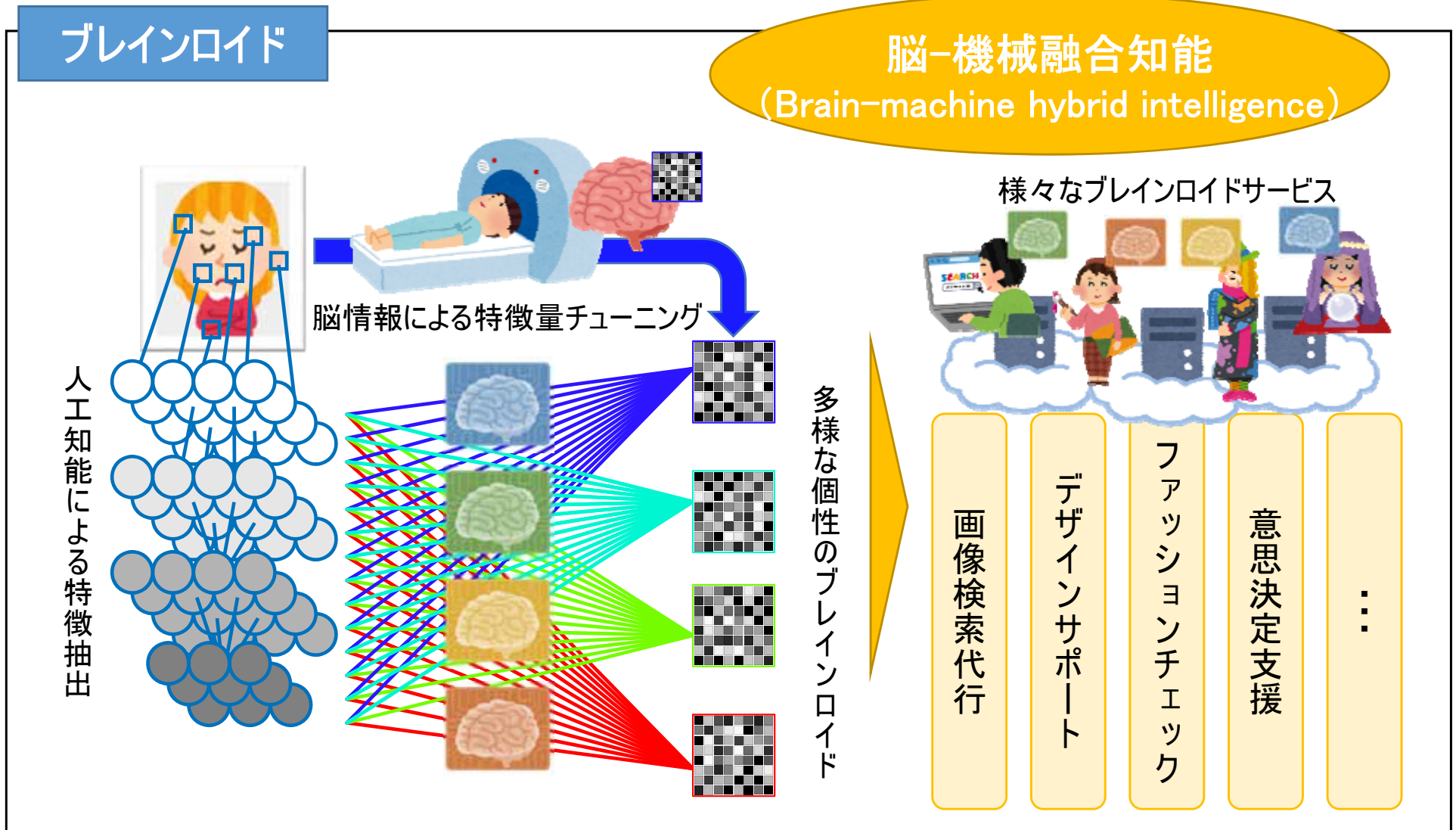
脳ロボティクス（大阪大学石黒統括技術責任者）

脳を思い通りにセルフコントロールし脳健康維持増進を図るため、脳情報とロボティクス技術を融合した脳ロボティクス領域では、運動支援やストレス調節、マルチタスク強化を実現するロボットを開発している。



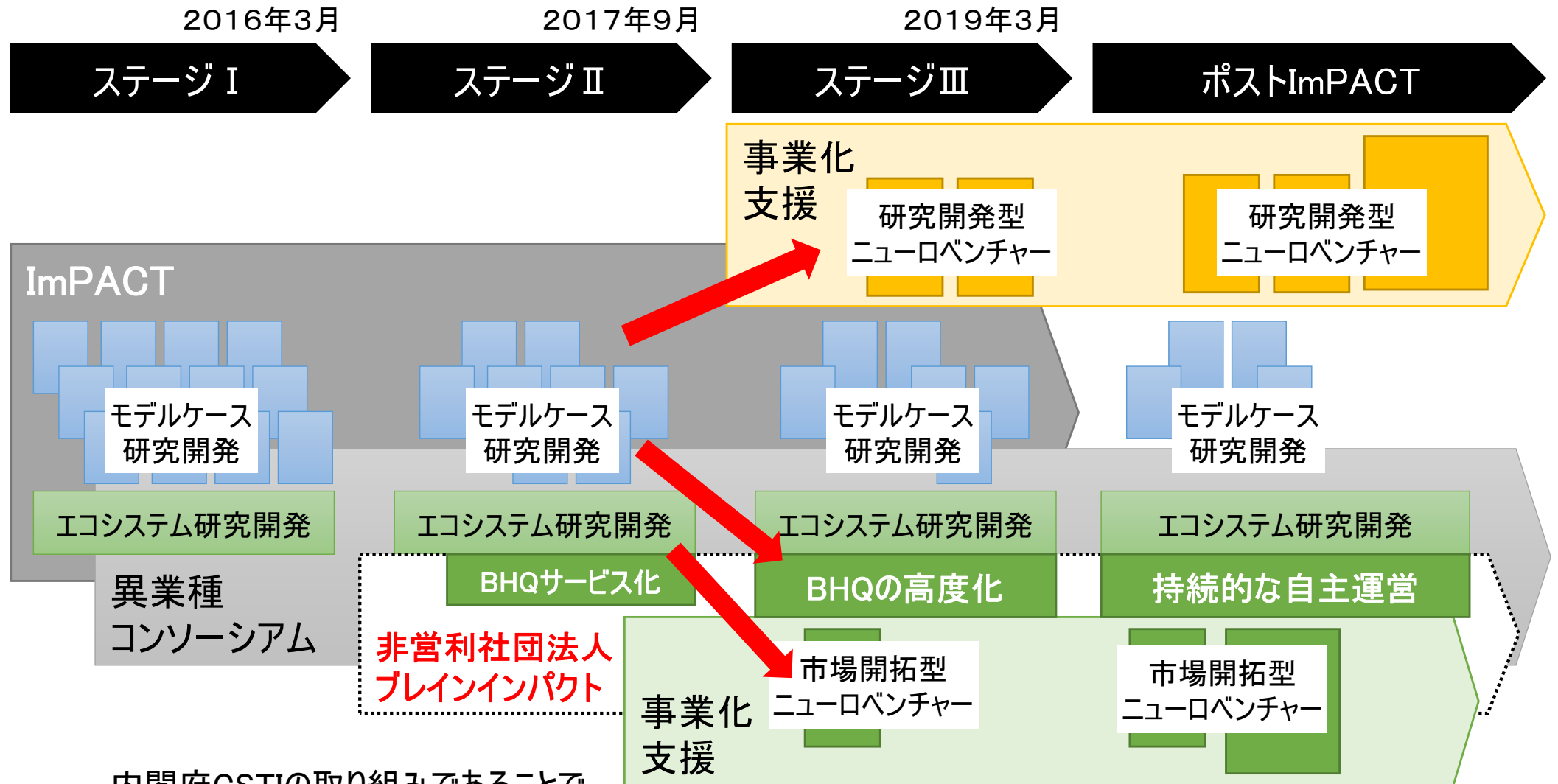
ブレインロイド（京都大学神谷統括技術責任者）

自分を助けて働いてくれる多様な知性を作るために、人工知能技術と脳科学を融合して様々なブレインロイドの作成を目標としている。現在、脳情報による人工知能の特徴量チューニングを実装した。



ポストImPACTを想定した組織発展イメージ

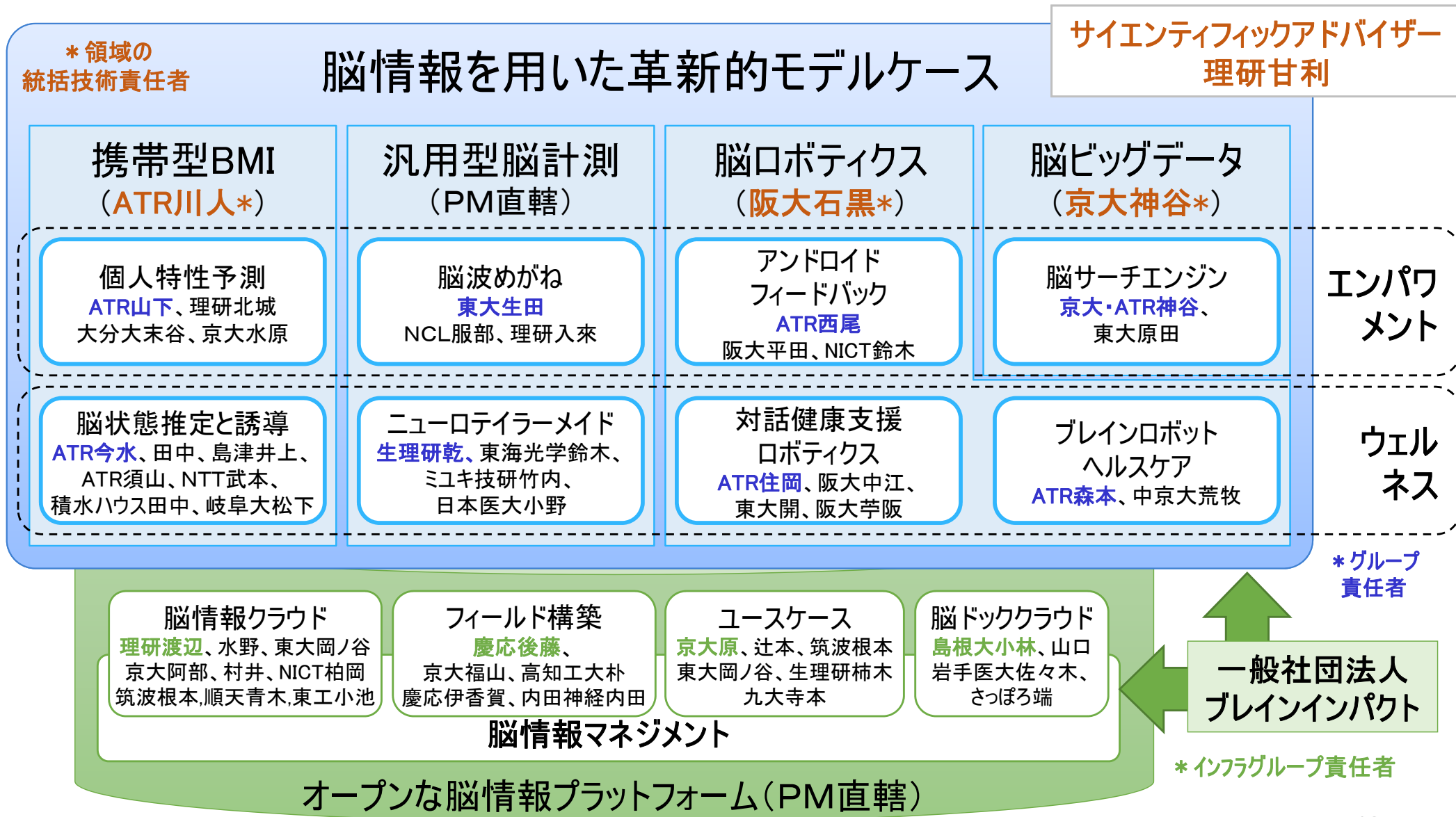
これまで、ステージゲートによるモデルケース研究開発の選抜を進めると共に、社団法人の創設を通じたエコシステム研究開発の強化を図ってきた。今後は、ニューロベンチャー創出に向けて活動を加速。



内閣府CSTIの取り組みであることで、国際標準化は総務省が、事業化支援は経済産業省が、データシェアリングは文科省が、それぞれご支援して下さっている。












【参考】ステージ2の研究開発体制

4つの技術領域に2つのサービス領域を設定した全8領域に対して、ステージゲートにより選抜した8グループを配置。下支えをする脳情報インフラ基盤領域は、メンバーを拡充して直轄の4グループを配置。



【参考】異業種コンソーシアム（B3C*）に参加の民間企業

B3Cには民間企業34社（5月18日現在）にご参加頂き、B3C会議を年間4回程度実施予定。

    	   	    	    
モビリティ	住宅・オフィス	食品・飲料	電機・情報通信
  	   	 	 
広告・コミュニケーション	化粧品・日用品	ロボット	電機・情報通信
		 	
インフラ		計測技術	繊維

(*B3C; Brain business bridging consortium)



**Brain
Business
Bridging**